

資料3

いじめられた生徒・いじめた生徒に見られるサイン

1 いじめられた児童生徒のサイン

いじめられた児童生徒は自分から言い出せなかったり、意思の表出が難しい児童生徒もいる。複数の教職員が、複数の場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場面	チェック	サイン
登校時 朝の活動等		遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。
		教職員と視線が合わず、うつむいている。
		体調不良を訴える。
		提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。
		担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。
授業中		保健室・トイレに行くようになる。
		教材等の忘れ物が目立つ。
		机周りが散乱している。
		決められた座席と異なる席に着いている。
		教科書・ノートに汚れがある。
		教職員や児童生徒の発言などに対して、突然個人名が出される。
休み時間等		給食にいたずらをされる。
		給食を教室の自分の席で食べない。
		用のない場所にいることが多い。
		ふざけ合っているが表情がさえない。
		衣服の汚れ等がある。
		決められた清掃場所に行かない。
放課後等		慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。
		持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。
		一人で部活動の準備、片付けをしている。

2 いじめた児童生徒のサイン

いじめた児童生徒がいることに気が付いたら、積極的に児童生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

チェック	サイン
	教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。
	ある児童生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている。
	教職員が近づくと、不自然に分散したりする。
	自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童生徒がいる。